

農林水産統計調査におけるPDCAサイクル点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00500201
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査
調査の名称	農業経営統計調査(原料用かんしょ生産費統計調査)
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(「食料・農業・農村基本計画の農業経営の展望の推計の参考資料として利用」)
特記事項	

点検・評価事項等 点検・評価項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況			
	整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)	
1 調査の目的	整合	<div>結果の利活用実態</div> <div>(特記事項)</div> <div>その他 ()</div>				
2 調査対象の範囲※	整合	<div>調査対象地域</div> <div>調査対象産業</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div>				
3 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等※	整合	<div>母集団情報</div> <div>抽出方法・抽出基準</div> <div>全数層・抽出層の設定</div> <div>対象数の算定</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div>				
4 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間※	整合	<div>調査票</div> <div>調査事項</div> <div>調査期日・期間</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div>				
5 報告を求めるために用いる方法※	整合	<div>調査方法</div> <div>調査系統・組織</div> <div>民間委託の範囲</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div>				
6 報告を求める期間※	整合	<div>調査実施期間(始期・終期)</div> <div>調査票の提出期限</div> <div>調査の周期</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div>				
7 集計事項※	整合	<div>未集計</div> <div>未公表</div> <div>復元推計</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div>				
8 調査結果の公表の方法及び期日※	整合	<div>公表実施時期</div> <div>公表媒体</div> <div>e-statの掲載</div> <div>閲覧表</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div> <div>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和元年度の公表の期日を4ヶ月延期済</div>				
9 使用する統計基準	整合	<div>独自基準の採用</div> <div>独自基準の説明</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div> <div>統計基準は使用していない。</div>				
10 調査票情報の保存期間及び保存責任者	整合	<div>保存期間</div> <div>保存責任者</div> <div>保存方法</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div>				
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	整合	<div>立入検査対象事項</div> <div>その他 ()</div> <div>(特記事項)</div> <div>立ち入り検査は実施していない。</div>				
12 不整合が生じていないものの、改善を検討(予定)している事項		検討(予定)している事項の有無 (選択記入)	検討(予定)している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
		なし				

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

Ⅱ 必要な精度の確保・向上の観点	1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)			
		精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)		目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		○	達成精度(実績精度)	計算単位当たり全算入生産費の標準誤差率 全国 3.0%	令和元年産調査	令和元年産調査 3.4%	平成30年産調査 3.6%	平成29年産調査 3.6%
			回収率・回答率					
			回収標本数					
			カバレッジ	*前回調査及び前々回調査についても同様の標準誤差率で実施	*前回調査及び前々回調査は平成29年産調査	注：上記は集計経営体による実績精度 ※集計対象経営体：調査対象経営体のうち脱落経営体、10a以上作付けしなかった経営体、収穫皆無の経営体、非販売経営体及び過去5か年の10a当たり収量のうち、最高及び最低の年を除いた3年間の10a当たり平均収量に対する調査年の10a当たり収量の増減収率が±70%以上であった経営体を除いた経営体		
			その他					
	設定なし							